

問一(二五点)

【採点のポイント】

- ・本文の内容を理解できていること。
- ・筆者の考えをふまえていること。
- ・要点がまとめられていること。
- ・文章表現のきまりに則していること。

【解答例】

「先まわり」する表現は受け手の反応を目標とする表現である。例えば、アマビエの顔をかわいくしたいという作り手の目標を、「手にした人が笑顔になれるように」と表現したり、選手が全力を尽くして試合に勝つという本来の目標を言わずに、「観客に勇気を与える」と表現したりすることである。これらの表現は、過剰に受け手に寄り添い、内容や「理」よりも受け手の情的な反応が前面に出てくるため、視点が交錯してわかりにくい。

(二〇〇字)

問二(七五点)

【出題の意図】

言語表現と言語の使い手の思考や行動との関係性を意識し、論理的に分析し、捉える力は、日本語日本文学専攻に入学する学生にとって、大切である。課題文をふまえ、自らの見解を論理的に述べることができるかどうかを問うものである。

【採点のポイント】

- ・自分の意見を明快に、かつ論理的に述べていること。
- ・文章表現のきまりに則していること。
- ・段落わけなど文章の構成が整っていること。